

用賀地区防災ナビ


*このマップについてのお問い合わせ：
用賀まちづくりセンター (03-3700-9120)

0 200 400m



AEDの設置場所

主に人がたくさん集まる公共の場所に設置されています。
たとえば…
銀行・交番・郵便局・駅・学校・区役所・区の施設 など
※公共機関にはAEDが設置されていないところがあります。
コンビニや商店街でも置いてあるところがありますので、見つけておきましょう。右上のマークが目印です。



- 広域避難場所
- 公立学校
- 私立学校
- 病院
- 一時集合所
- 救護所
- 保育園・児童館
- 役所関係施設
- 消防署
- 交番・駐在所
- 福祉避難所
- 予備避難所
- 公園
- 寺
- 神社
- 町会掲示板
- 銀行
- 郵便局
- 公衆電話
- AED

給水拠点
(大蔵給水所)

給水拠点
(駒沢給水所)

自宅・職場から最寄りの避難所までの避難ルートを書いてみてねえ!

自宅から最寄りの避難所を覚えておくのじゃ!

福祉避難所

自宅や避難所での生活が困難で、介護などのサービスを必要とする災害時要援護者を一時的に受け入れ、保護するために開設される避難所です。災害の規模、避難所の状況に応じて、区災害対策本部と施設管理者とで調整を図り開設していきます。

- *グランクレール馬事公苑 (上用賀 1-22-23)
- *用賀福祉作業所 (用賀 4-7-1)
- *トラストガーデン用賀の杜 (用賀 1-3-1)

- 一時集合所** (👤マーク)
上記のマークのある場所
- 指定避難所** (🏫マーク)
区立各小中学校
- 予備避難所** (🏫マーク)
桜町高校、駒澤大学高校

街路消火器・消火栓は街の中にたくさんあるよ!いざという時のため、身近にある街路消火器や消火栓の位置をぜひ確認しておいてくださいね!



*協力：用賀商店街、東京都
*「平成27年度地域の絆推進ネットワーク支援補助金」で作成しました
(平成29年3月更新)



日常備蓄（ローリングストック法）

>>「東京防災」84～93 ページ参照

インフラが寸断された場合に、数日間は暮らせるように備えましょう。乾パンなど特別な準備をするのではなく、日頃から利用している食品・生活必需品を少し多めに購入し、消費したら買い足すサイクルを作りましょう。

- ① 食べ物、日用品を少し多めに購入！
- ② 自宅に少し多めの状態をキープ！
- ③ 普段の生活で消費する。
- ④ 消費した分を買い足す。

古いものから
順に消費！

※自分好みの食品などを備蓄することにより、在宅避難中のストレスが軽減されます。
※持病の薬なども、お忘れなく。

町会人…絆

安心・安全なまちづくりのためには、町会への加入は大切です。もしご近所に未加入の方がいる場合は、加入を勧めてください。私たちは地域の絆をつくっています。町会の防災訓練に参加しましょう！

*お問い合わせ先：
電話 → 用賀まちづくりセンター（03-3700-9120）
インターネット → 世田谷区町会総連合会
<http://setagaya-chousouren.org/>

備蓄ユニットリスト

>>「東京防災」84～93 ページ参照

食品 （普段から食べ慣れたもの） ※アレルギーをお持ちの方は対策も忘れずに！	<input type="checkbox"/> 水（例として1人1箱：2L×6本入） <input type="checkbox"/> レトルトご飯、レトルト食品、カップ麺 <input type="checkbox"/> 缶詰（肉、魚、くだもの、小豆など） <input type="checkbox"/> 野菜ジュース <input type="checkbox"/> 菓子類（チョコレート、飴など） <input type="checkbox"/> 好みの飲物（お茶、コーヒー） <input type="checkbox"/> 調味料一式
生活用品	<input type="checkbox"/> 持病の薬、救急箱 <input type="checkbox"/> カセットコンロ（ボンベ6本） <input type="checkbox"/> トイレトーパー（12ロール） <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー（5個入×5個） <input type="checkbox"/> 除菌ウェットティッシュ（1箱） <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ（10個） <input type="checkbox"/> ラップ（1本） <input type="checkbox"/> 生理用品（60個） <input type="checkbox"/> ゴミ袋（30枚）
その他必要なもの	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ（30回分） <input type="checkbox"/> ライター、乾電池 <input type="checkbox"/> 手回し充電式ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯（2個） <input type="checkbox"/> ゴム手袋（1箱）

（「東京防災」を参考に各家庭にあったものを揃えましょう。）

備蓄のポイント

>>「東京防災」84～93 ページ参照

冷蔵庫は食料備蓄庫

停電しても、ダメになりやすい冷凍庫のものから食べ始め、次に冷蔵庫のもの…と順序を考えれば数日間は食べ繋ぐことができます。

電力7日、通信14日
上下水道30日
都市ガス60日

各々のライフラインの機能を95%回復させるのに要する想定目標日数（「東京防災」より）

生活水の重要性

断水に備え、常にお風呂に水を張っておきましょう。

オール電化住宅

お湯が使えればカップ麺などの食品を利用できます。カセットコンロ・ガスボンベを用意しましょう。

ひとり暮らし

コンビニ利用が多い人は、カップ麺やレトルト食品、スナック菓子、飲物など、自分の好きなものを少し多めに買い置きしましょう。

使用期限チェック

食品以外にも期限はあります。電池、薬、カイロなど定期的に点検しましょう。



【用賀地区防災マップ】

平常時に備えよう！

普段から…

- ① 家族みんなで話しあい
- ② となり近所の助け合い
- ③ まちぐるみの助け合い

「東京防災」はぜひチェックしてねえ！



よっきー

用賀地区町会連合会

（上用賀町会・用賀町会・用賀南町会）

※折り方を変えると平常時と緊急時の切り替えができます

【用賀地区防災マップ】

緊急時に行動しよう！

避難するときには…

- ① ガスの元栓を閉める
- ② 電気のブレーカーを落とす
- ③ 近所に声を掛ける
- ④ 移動先などの張り紙はしない（防犯対策として）

「東京防災」はぜひチェックしてねえ！



用賀地区町会連合会

（上用賀町会・用賀町会・用賀南町会）

災害時のトイレに関して

災害時はトイレが使えない!?

災害時は、停電・断水・給排水管・下水処理施設の損傷など、様々な理由によりトイレが使用できなくなる恐れがあります。そこで、仮復旧（東日本大震災では約一ヶ月程度）までのトイレの代替手段を考えておく必要があります。現在、容器に被せて使用する「非常用トイレ（簡易型トイレ）」（右上写真）がネット通販などで比較的安価で購入できます。世田谷区でも防災用品をあっせんしています。また、非常用トイレがない場合の「簡単トイレ」の作り方は「東京防災」の201ページをご覧ください。



マンホールトイレとは

専用マンホールの上に便座を設置し、マンホールの下にある水槽に、地下水等を貯めて使用します。水槽に貯めた水は、適宜下水道の本管に流し、再度水を貯め使用します（使用したトイレトーパー等は、原則可燃ごみとして廃棄します）。区立小・中学校では5～10基の設置が可能です。避難所運営訓練に参加して、ぜひ実物をご覧ください。



必要な情報の入手&安否確認

>>「東京防災」226～227 ページ参照

災害用伝言ダイヤル（「171」）*毎月1日・15日に体験ができます
地震などの大災害発生時、個人の安否確認手段として、NTT東日本が運用する「災害用伝言ダイヤル」があります。被災地の方が録音した安否などに関する情報を、他の地域の方も聞くことができるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。伝言の保存期間は原則、運用終了まで。

災害用伝言板（<https://www.web171.jp/>）

インターネットを利用した伝言板です。被災地域の居住者が、電話番号などをキーとして伝言情報（テキスト）の登録が20件可能です。伝言の保存期間は最大6ヵ月間です。



災害用伝言板（携帯電話）

大規模な災害が発生した場合、各携帯電話事業者が運用する「災害用伝言板」を使い、安否情報を登録・確認することができます。

FM せたがや 83.4MHz をご存じですか？

災害時の情報入手手段として有効なエフエムラジオ放送です。ぜひ普段の生活でもご利用ください。

避難をするときは

